



「こうなん」  
まちの

# 見守り通信

第9号

港南区では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、さまざまな「見守り・支えあい」の取組を進めています。



港南区  
見守り協力事業者  
登録数  
**403事業者**  
(令和5年1月末現在)

## 「見守り協力事業者」とは？

ふだんの暮らしの中で「あいさつ」や「声かけ」をきっかけに、ゆるやかな見守りに協力していただいている事業者の皆さんのことです。



障害福祉事業所が「見守り協力事業者」を訪問しました。

## どうしてこの取組を始めたの？

地域で暮らすことに多くの不安を抱える障がいのある方にとって、「見守り協力事業者」の取組は大きな支えとなります。

とは言っても、「見守り協力事業者」の方々にとっては、『障がいについて何もわからないし…』『障がいのある方と関わったこともないし…』と困惑されることもあるのではないのでしょうか。

そこで、ゆるやかな見守りから一歩進み、障がいのある方を知ってもらうことから始めようと、**障害福祉事業所の利用者**と**職員**が「見守り協力事業者」を訪問させていただきました。



港南区障害者団体連絡会  
早坂会長

裏面へ



3年ぶり  
開催

## 「見守りネットのば」連絡会

野庭エリア

野庭地域ケアプラザでは、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、ゆるやかな見守り体制の構築を目指し「見守りネットのば」の取組を進めています。



野庭エリアで見守りをしてくださっている事業者が、日頃、地域の方々との関りの中で困ったこと、工夫していることなどを共有しました。また、各事業者が「できること」「取り組んでいきたいこと」を具体的に考えるきっかけにもなりました。開催後には、配食事業者の多世代に向けた取組のサポートや、各事業者とひまわりホルダーなどの情報提供を一緒に進めるなど、できることから取り組んでいます。

野庭地域ケアプラザ



生活支援コーディネーター  
石渡さん

主任ケアマネジャー  
佐藤さん

初開催

## 見守り協力事業者と地域の方の意見交換会

東永谷エリア



東永谷エリアで加入していただいている見守り協力事業者と地域で見守り活動をされている方との意見交換会を初めて開催しました。各事業者と地域の見守り状況について共有し、知り合えるきっかけづくりの場となったのではないかと思います。今回知り合えたことをきっかけに今後も情報共有を通して見守りの輪を東永谷エリアで広げたいと思っています。

東永谷地域ケアプラザ



生活支援コーディネーター  
杉山さん



# 見守りからえがおのまちへ

障害福祉事業所が「見守り協力事業者」を訪問しました。



## 障害福祉事業所のみなさんの感想は？

障害福祉事業所のある地域のお店や施設の方々が、快く訪問を受け入れてくださったので、利用者からは「優しく自分たちの話を聞いてもらえうれしかった。」、職員からは「自分たちから発信していく必要があることを実感した。」などの感想が聞かれました。また訪問の際、事前の打合せや同行してくださった地域ケアプラザの職員さんからも、勇気をいただいたそうです。



## 今後について一言お願いします。

この取組は始めたばかりですが、継続して活動をしていくことで、地域の方々と顔の見える関係になり、挨拶したりちょっとした立ち話ができたりするようになってうれしいと思っています。誰にもやさしく安心して暮らせる港南区になってほしいと願っています。



港南区障害者団体連絡会  
早坂会長

## 障害福祉事業所 Voice

### 就労継続支援B型事業所 はばたき

利用者の皆さんがよく行くお店では、はばたきの利用者だと知ってくださっているの、気になることがあると連絡をいただくこともあります。

今回の訪問を通して新しいお店や地域ケアプラザとのつながりができました。こうしたつながりから、何か地域が盛り上がるようなことができるといいですね。地域の皆さんに、もっとはばたきのことを知ってもらいたいと思います。



## 見守り協力事業者 Voice 1

### セブンイレブン 横浜大久保3丁目店

8年前のオープン以来、お客様に声をかけることを大事にしています。買い物だけでなく、話をしに来られる方もいらっしゃいます。その中で具合が悪いと聞けば、次の来店時に「その後いかがですか」などの声をかけています。障害のある方がいらっしゃった時には、手伝い過ぎないよう困った時にだけお手伝いをするようにしています。



## 見守り協力事業者 Voice 2

### 生活協同組合 ユーコープ大久保店

CO・OPは助け合いの組織です。食料品を販売する小さな店ですが、多くの地域の方にご利用いただいています。ご様子がお気になるお客様はスタッフで共有し、地域ケアプラザのご案内もしています。何度も声をかけ続けることで、本当に困った時につながることもあります。スタッフも地域住民の一人。自らの経験も踏まえて、自分だけで解決できない時にサポートを受けるのは悪いことではないと伝えています。障害福祉事業所が来てくれたことで、トイレの利用など、何かあった時に立ち寄りやすくなればいいと思います。これからも地域の中でお役に立てるCO・OPでありたいと思います。



## 見守り協力事業者 Voice 3

### vend Deli & Lunch Box

いらっしゃるお客さんから、体の調子が悪いという相談を受けることもあります。そうした話の後にしばらく来店されなくなると心配になります。今年は、お店としても街の活性化を考える年としたいと思っています。今回の障害福祉事業所とのコミュニケーションもきっかけとして、一緒に街を盛り上げていきたいと思ひますし、そうした場があると良いですね。日常の地道なつながりから、何かイベントへと自然に発展していけると良いと思ひます。

